

議 会 だ よ り

おおやまざき



第71号

発行

平成27年3月1日

平成26年第4回定例会(昨年12月議会)

新町長公約の実現性を ただす!



菅原道真腰掛け石

主な内容

- 平成26年第4回定例会 一般質問要旨…… 2 ~ 6
こんなことが決まりました…… 7
第3回臨時会(11月25日)
第4回定例会(12月議会)
議会のごき 視察・研修等…… 8
第1回定例会(3月議会) 日程…… 8

今月の
表紙の写真

菅原道真腰掛け石

(大山崎西谷・離宮八幡宮)

菅原道真公が九州の大宰府へと流される折、西国街道脇の石に坐して休息し、次の和歌を詠じたと伝えられています。「君が住む 宿のこずゑをゆくゆくも

かくるまでにかへり見しかな」(「大鏡」)*

江戸時代の観光書「都名所図会」(巻之四)の離宮八幡宮のページにも「大鏡」からの道真公の歌が引用され、この石のことが紹介されています。

*この歌は、出典により語句の一部が異なります。

町政を問う

一般

質問

昨年の第4回定例会(12月議会)では、9人の議員が一般質問に立ち、当面する本町の課題について、町長および行政の考えをいただきました。おもな質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

一部要旨

山中 一成 議員……P2

- 保育所の民営化
- JR山崎駅のバリアフリー化 他

波多野底砂 議員……P3

- 防災・減災
- 都市計画税の創設について 他

岸 孝雄 議員……P3

- 大山崎町の「未来創造」
- 役場における組織力の向上

高木 功 議員……P4

- 「まちづくり会議」について
- 「食育・給食の充実」 他

小泉 満 議員……P4

- 町長公約について
- 水道料金

朝子 直美 議員……P5

- 中学校給食
- コミュニティバスなど「地域の足の確保」 他

西田 光宏 議員……P5

- 大山崎町の観光開発
- 阪急大山崎駅から JR山崎駅周辺の整備

辻 真理子 議員……P6

- 女性や乳幼児に対する防災時の配慮
- 保育、学童保育

渋谷 進 議員……P6

- 地下水ブレンド率の引き上げについて
- 円明寺が丘団地の側溝改修 他



山中 一成 議員 (所属会派 II 大山崎クラブ)



1. 保育所の民営化について

問 12月5日付の新聞等で報道された保育所民営化の考えを尋ねる。

答 民間の柔軟な発想と努力による付加価値の創出も大いに期待する。

問 今後の具体的な進め方を問う。

答 任期最終年度である平成30年度までに実現していきたい。

2. 自助・共助・公助について

問 避難行動要支援者名簿の作成と避難ルール作りが必要ではないか。

答 速やかに避難行動要支援者名簿を作成し支援体制を整備する。

問 民生委員が中心となる、消防団・自主防災組

織との連携・協議が必要ではないか。また、個別避難計画書の作成はできているのか。

答 避難支援関係者が連携を図り、支援の輪を構築できるよう取り組みたい。また、個別避難計画の作成は必要である。

問 自主防災組織の必要性に対する考え方とその進捗状況はどうか。

答 加入世帯は約36%と決して高い数字ではないため、結成を促進し活動支援にも力を注ぎたい。

問 平成26年の台風18号での避難指示発令を教訓に、本町の避難対応はいかにされているか。

答 課題は早急に解消を図り避難できる体制を整える。

問 洪水災害・土砂災害・地震災害など大規模災害が発生した場合のそれぞれの対応はどうか。

答 災害時応援協定のさらなる締結を進める。

問 JR山崎駅のバリアフリー化は、平成32年度が国の基本方針で定める整備期限となっている。町当局の考えを問う。

答 早急な整備方針の判断を迫られている状況であると認識している。

4. 国道171号の西高田交差点と尻江橋交差点の右折レーン整備について

問 国・府への要望活動後の進捗状況はどうか。

答 ひきつづき要望活動を行っているところである。

問 今後、早期に着手されなかった場合の対策について尋ねる。

答 解決方法を探るよう努める。

波多野 庇砂 議員 (所属会派Ⅱのぞみ)



施したいことは何か。

答 各種の公約を実行する中で、目標実現へ邁進していく。

1. 防災・減災について

問 集中豪雨による雨水の内水排水対策を進める旨町長公約とした。大山崎排水ポンプ自体の再構築について、実施の可否を問う。

答 雨水排水ポンプ場の推進に取り組む。

2. 都市計画税の創設について

問 いくつか提案し、税率はどのように考えているのか。

答 都市計画税の導入について有権者の信任を得、当選した。

平成27年度中に提案し、平成28年度より導入の方向で検討している。率については未定。

3. その他の公約について

問 山本町政4年間で実

とすれば年間所要額はいくらか。

答 平均的職員給与が長岡京市646万円、大山崎町587万円、平勢統38年で差額58万3千円、2215万4千円の差額となる。全職員137名分を長岡京市並にとすれば、現在よりも7987万円増額必要となる(年ベース)。

問 エレベーター設置を考えているのか。

答 中期の整備目標と位置付けている。

4. 町長公約に示されたJR山崎駅のバリアフリー化について

問 1ヶ月間の試験結果について、1日当りの利用者数の平均は約42人であり、通常のうぐいす号の1日当りの利用者とはほぼ同じ。長寿苑利用者が61%それ以外が約22%。需要が伸びた状況でない。

答 1ヶ月間の試験結果について、1日当りの利用者数の平均は約42人であり、通常のうぐいす号の1日当りの利用者とはほぼ同じ。長寿苑利用者が61%それ以外が約22%。需要が伸びた状況でない。

問 当町と長岡京市の平均的職員の生涯所得の差額はいくらか。又、全職員所得を長岡京市並みに

その他、中学校給食についての質問もを行いました。

岸 孝雄 議員 (所属会派Ⅱ民主フォーラム)



1. 大山崎町の「未来創造」について。

問 町長の公約であり、基本政策である「未来創造」について、未来を創造するにあたり持続可能性の追求は必至の条件であると考えますが、特に次の3項目の持続可能性についてどのようにお考えか町長の御見解をお聞きます。

答 持続可能な税収の確保について現行の行政運営を続けた場合の20年後の税収見込みと町政運営に必要な税収の規模及び財源確保について。

問 国や地方における福祉施策や税制度に大きな変化が見込まれ、将来的な推計は非常に困難であるが、常に行政の無駄を省き、最少の経費で最大

の効果を上げるといふ「自治体運営」の基本を貫き、必要な施策の展開と財源確保に努めたい。

問 水道事業における持続可能性について水道事業会計の慢性的な赤字構造と老朽化した配管の更新について。

答 平成28年度の完成に向けた施設整備計画は多額の事業費が必要となるが、「安心で安全な水道水を安定的に供給できる水道」を実現するため、財政計画の見直しを行いながら、老朽化した配管の更新や施設の耐震化を進めたい。

問 持続可能な地域福祉サービスについて現行の本町における地域福祉サービスはサービス受給者の増加とサービス提供資源(財政面及び人員面)の供給不足が課題となってきた点について。

答 子育て支援、障害者ニーズ、超高齢者社会への

の対応などさまざまな取組を一步一步進めながら、真の「オール大山崎」の体制で「心ひとつに」乗り越えたい。

問 現行法制度の変化に伴い、行政事務や行政システム自体に急速で大きな変化が想定されるが、これらに対応する人事体制を含めた町行政当局の組織力の向上策について町長の見解を問う。

答 職員個々の意識を高め、緊張感を持つとともに、頑張った職員にはしっかりと報いることができる組織を築いていきたい。



高木 功議員 (所属会派 公明党)



1. 町長公約について

問 「まちづくり会議」の進め方について。

答 本町の最も大きな課題は、町民と行政の距離の乖離であり相互不信である。町の信頼関係を構築するためには、積極的に地域の内外に出向き、信頼関係の構築に努める。

問 子どもの健やかな育ちの保証のため、受け皿の確保、保育ニーズへの対応、新制度の有効活用として「民営化」のメリツトの追及、質の向上について。

答 産休明け保育をはじめ休日保育、夜間保育、病児保育、そして完全給食の実施など、この間、公立では実現できなかったサービスに加え、民間の

柔軟な発想と努力による付加価値の創出も大いに期待するところである。「民営化」については、議会場でしっかりと議論させていただきながら、任期最終年度である平成30年度には、実現させたいと考えている。

問 「食育・給食の充実」について、更なる給食の充実においては、本町独自で進めていく方法も一つの考えとしてあるが、広域的な考えから、2市1町で話し合いを持ち進めていく方法もある。ぜひとも、そのリーダーシップを取って頂きたいかがか。

答 中学校の給食における重要性については重く受け止めているが、町財政状況や山積する課題解決に鑑みて、まずはスクールランチの利便性を向上させたい。今後は乙訓2市の取り組みについても見守っていききたい。

問 都市基盤整備のための「都市計画税」を早い時期に導入したいと言われているが、住民及び議会に對し、町長自身がどう取り組んでいかれるのか問う。

答 広く町民の皆様には、この選挙戦を通じて、「都市計画税」の必要性はご理解を賜ったものと考えているので、そのための説明会等は考えていないが、今後、「都市基盤整備事業」については、一定詳細が固まった段階で、町広報誌やHP等において説明責任を果たさせていただきます。

また、議会に對しては27年度中に「提案をさせていただく予定であり、改めて、この議会の場で審議を賜りたいと考えている。

その他、旧庁舎の売却と試験運行バスについての質問を行いました。

小泉 満議員 (所属会派 清新)



1. 町長公約について

問 政策のなかで、最重要政策を1点あげるとすれば何か。

答 私が抱く行政経営理念については、「未来を創造 自律したまちづくり」を基本理念として、20年後・30年後をしっかりと見据えた上で、大山崎町の未来を明確に描き、その未来像は、すべての人が光輝く「希望と誇りある大山崎町」であり、自らを律する「自律したまち」である。

この基本理念こそが政策目標でありそれぞれの施策については、目標実現を図る上で必要な手段と位置づけている。

2. 水道料金について
町民への水道料金値

下げの時期はいつ頃の予定か。

答 去る11月27日に、「平成27年度以降の府営水道供給料金の在り方（京都府水道事業経営審議会から京都府知事へ）」について答申がおこなわれ、

①「従量料金」の名称を「使用料金」に改め、宇治系、木津系、乙訓系各水系1立方メートル当たり税抜き34円から、20円とする。

②「基本料金」については、「建設負担料金」に改める。木津系、乙訓系は、水源費や既存施設の減価償却費の減少により料金単価を1立方メートル当たり税抜き73円から、66円とする。

③「建設負担水量の融通」については、大山崎町のように府営水道を100%利用したとしても「建設負担水量」に満たない町と水需要が増加する市町との間で融通をすることが望ましい、とされた。

この答申を受け、京都府にて供給料金の条例改正案が可決され、単価が引き下げられた場合、本町の受水費は、税込で約3400万円軽減される見込みである。

本町水道料金の値下げにつきましても、「京都府営水道料金の値下げが実施される時点」で、「施設整備計画に基づき、施設整備を実施する財源とすること」を含めて、検討していくことになると考えている。

その他、保育所の民営化についても質問しました。



乙訓浄水場

朝子 直美議員 (所属会派Ⅱ日本共産党議員団)



問 「学校給食法に定められた給食の実施」と明記することは現在考えていない。

答 町長は議員時代に「愛情弁当」を主張し、給食実施に反対していたが、今はどのように考えているのか。

問 今でも「家庭での手作り弁当」が一番望ましいと思っている。

答 スクールランチ実施にあたり生徒達にアンケートをとったところ、「家からのお弁当」を希望する生徒が多かった。

問 2. 「コミュニティバスなど」地域の足の確保について

答 高齢化が進む本町において「安心して住み続けられるまちづくり」の重要課題として、「住民の足の確保」に早急な対応が必要だと考える。前町長の行った「コミュニティバスの凍結」を解き、積極的に進めることを求めるがいかがか。

答 「凍結」を解除するつもりはない。

問 3. 「ゴミ」の収集について

答 1世帯が1回に捨て



てられる量の制限などの「ごみ減量化のため」のルールの厳格化が、住民には負担、不満となっている。新町長のもと、現在の収集方法を改めて、住民と共にルール作りから始める「協同の視点」を取り入れてはどうか。

答 今の方法を変えることは考えていない。住民の皆さんに、理解、協力いただけるよう説明していきたい。

その他、日本軍「慰安婦」問題について町長の見解を問う質問も行いました。

西田 光宏議員 (所属会派Ⅱ大山崎クラブ)



問 最近大山崎町を訪れる観光客は確実に増えている。そこで、町長のお考えの中で地の利を活かした観光発展のプランや府北部との連携での観光ブランドの強化とあるが、具体的対策をどう講じていく考えであるか尋ねる。

答 本町は鉄道・高速道・一般道と京都南部における交通の要衝であり、観光名所が集中するこの立地の良さを、多様なメディア媒体を通じて積極的に発信していくべきであると考えている。全国から府北部の観光地に向かう流れをまず大山崎町に呼び込み、乙訓二市と連携を図りながら観光振興と活性化に努める。

問 当町総務部の中に、将来的に独立した観光課や観光協会を設置する考えはないか。

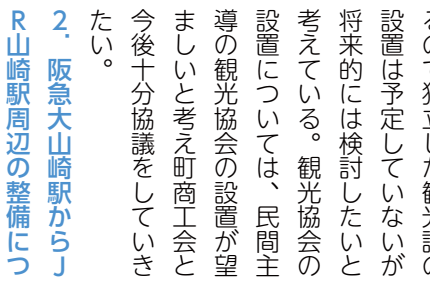
答 私の目指す「まち」の未来像を実現する為にも活力を高め活性化することは重要な要件である。現状でも行政として一定のPRは行っているが、発信機能の一元化は図られていない。本町が持つ魅力を戦略的にPRできるような広報機能を充実強化したい。現時点では、観光業務も広報戦略と一体的な組織再編を考えているので独立した観光課の設置は予定していないが将来的には検討したいと考えている。観光協会の設置については、民間主導の観光協会の設置が望ましいと考え町商工会と今後十分協議をしていきたい。

問 どのように推進していくのか。

答 町都市計画マスタープランにおいて、このエリアを「生活拠点」「まちのエントランス」として位置づけ、地域個性豊かな街並み空間の創出と交通ターミナル機能、商業機能の充実を視点にまちづくりを推進していくとしている。

問 整備を推進する具体的な手法は市街地開発などがあるが、町民及び地権者の賛同が必要なることから、事業の立案・計画・実施にあたっては地域住民の思いや意向などを踏まえて慎重に進めていく必要があると考えている。

その他、今年十月に開設した大型バスの待機所の使用状況についてや、小中一貫教育についての質問を行いました。



辻 真 理 子 議 員 (所 属 会 派 Ⅱ 日 本 共 産 党 議 員 団)



1. 女性や乳幼児に対する防災時の配慮について

問 平成25年の台風18号

の時、避難所では女性職員不足や、授乳時の配慮が不十分だったと子育て中のお母さんからお聞きしている。今後女性の視点を防災時の対応や運営に取り入れるべきではと考えるがいかがお考えか。

答 現在町では紙おむつや粉ミルク、生理用品等を備蓄している。台風18号では初めての経験であったことなどから十分な対応ができていなかった。今後は授乳スペースの確保等十分留意していく。

2. 保育、学童保育について

問 大山崎町の公立保育

所、学童保育が町外を含め、子育て世代にとつて大きな魅力となっており、実際に転入して来た人も少なくない。これは町の保育所、学童保育に価値があることを示している。町長はどの様に評価されているのか。

答 所、学童保育が町外を含め、子育て世代にとつて大きな魅力となっており、実際に転入して来た人も少なくない。これは町の保育所、学童保育に価値があることを示している。町長はどの様に評価されているのか。

問 一体づくりに重点を置いた保育を実施し地理的特性を生かした自然を大切にされた保育は、日常生活の中に深く根付くものとして、子どもたちの健全な成長に大きく寄与していると考えます。しかし今後の職員の世代交代を見据えた時、現状を将来に渡って維持することとは極めて困難である。正規職員を大幅に増加させることが事実上不可能な状況下において、サービス維持向上を図る為に民間活力を活用することは自然なことである。

答 一体づくりに重点を置いた保育を実施し地理的特性を生かした自然を大切にされた保育は、日常生活の中に深く根付くものとして、子どもたちの健全な成長に大きく寄与していると考えます。しかし今後の職員の世代交代を見据えた時、現状を将来に渡って維持することとは極めて困難である。正規職員を大幅に増加させることが事実上不可能な状況下において、サービス維持向上を図る為に民間活力を活用することは自然なことである。

公立では実現出来なかったサービスに加え民間の柔軟な発想、努力による付加価値に期待する。選挙戦の子育て支援の公約の中で保育所民営化の推進でもご信託いただいたと考えており、平成30年度には実現させていただきます。

学童保育についても、状況に対応していく視点から公設公営とは別に民間事業者の参入も大きく期待する。

公立では実現出来なかったサービスに加え民間の柔軟な発想、努力による付加価値に期待する。選挙戦の子育て支援の公約の中で保育所民営化の推進でもご信託いただいたと考えており、平成30年度には実現させていただきます。

学童保育についても、状況に対応していく視点から公設公営とは別に民間事業者の参入も大きく期待する。

その他、子どもの医療費助成拡充についての質問を行いました。

答 子育て支援事業計画からも3園でいける。プラスはないと考える。

渋谷 進 議 員 (所 属 会 派 Ⅱ 日 本 共 産 党 議 員 団)



1. 水道料金の引き下げについて

問 山本町長は「更なる水道料金の値下げに積極的に取り組む」と公約している。昨今、円安や物価上昇で町民生活は苦し

くなっている現状であり、府営水道の料金値下げが行われたら、その値下げ分を本町の水道料金値下げという形で町民に還元すべきと考えがいかがか。

答 府営水道料金の引き下げが府議会で決まれば、本町では受水費が三千四百万円軽減される見通し。しかし、給水収益の増収が見込めず、水道施設整備に多額の費用が必要であり、府営水道の値下げが実施された時点で、施設整備のための財源として使うことも含めて検討する。

2. 地下水ブレンド率の引き上げについて

問 本町の水道水は、府営水道の導入に伴い、元の地下水100%から、地下水・府営水(保津川の水)半々にブレンドされたものとなっている。町民の中には地下水100%を望む声が少ない。町長は地下水のブレンド率を高める考えはあるか。

答 本町の水道水は、府営水道の導入に伴い、元の地下水100%から、地下水・府営水(保津川の水)半々にブレンドされたものとなっている。町民の中には地下水100%を望む声が少ない。町長は地下水のブレンド率を高める考えはあるか。

早急に対応すべきと考えがいかがか。

問 本町の水道水は、府営水道の導入に伴い、元の地下水100%から、地下水・府営水(保津川の水)半々にブレンドされたものとなっている。町民の中には地下水100%を望む声が少ない。町長は地下水のブレンド率を高める考えはあるか。

早急に対応すべきと考えがいかがか。

問 今後の地下水の状況や水道施設の効率的運用、水道会計の健全化などを考慮してブレンド率を決めていきたい。

答 小倉橋東側は、複雑な道路形状、歩道の不在見通しの悪さなど、交通安全性に問題の多い地点となっている。本町域外ではあるが、本町としても早急な対応が必要と考えるがいかがか。

3. 円明寺が丘団地の側溝改修について

問 円明寺が丘団地西部の側溝改修は長年放置されてきた。高齢者やバギーを押す母親などにとつて歩行時にリスクを伴う状態になっている。

答 円明寺が丘団地西部の側溝改修については、来年度に、側溝改修設計画の委託を行い、早ければ平成二八年度から順次計画的に事業を進めていきたいと考えている。

4. 府道の安全性について

問 当該箇所は、当初、調子踏切の車両通行禁止を前提に整備されたが、近隣住民の理解が得にくく、現在も、車両通行が可能となっている。今後も府・長岡京市とともに、歩行者の安全対策を図っていく。

答 当該箇所は、当初、調子踏切の車両通行禁止を前提に整備されたが、近隣住民の理解が得にくく、現在も、車両通行が可能となっている。今後も府・長岡京市とともに、歩行者の安全対策を図っていく。

こんなことが決まりました（審議結果）

第3回臨時会（11月25日）

【議案】

- ▼「専決処分」の承認を求めることについて（平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第5号）」（全員賛成で承認）
- ▼「大山崎町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について」（全員賛成で可決）
- ▼「大山崎町職員の給与に関する条例の一部改正について」（全員賛成で可決）
- ▼「大山崎町職員の給与に関する条例の一部改正について」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第6号）」（全員賛成で可決）

説明
 円明寺長慶地域から小泉橋に新設される人道橋の設計変更や、大山崎・下植野排水ポンプ場の遠隔監視システムの更新について。

▼「平成26年度大山崎町下水道事業特別会計補正予算（第2号）」（全員賛成で可決）

第4回定例会（12月議会）

【議案】

- ▼「大山崎町職員の給与に関する条例の一部改正について」（賛成多数で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第1号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第2号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第3号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第4号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第5号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第6号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第7号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第8号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第9号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第10号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第11号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第12号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第13号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第14号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第15号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第16号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第17号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第18号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第19号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第20号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第21号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第22号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第23号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第24号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第25号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第26号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第27号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第28号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第29号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第30号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第31号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第32号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第33号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第34号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第35号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第36号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第37号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第38号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第39号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第40号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第41号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第42号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第43号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第44号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第45号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第46号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第47号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第48号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第49号）」（全員賛成で可決）
- ▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第50号）」（全員賛成で可決）

説明
 自然エネルギーの拡大のため、小学校の屋上に太陽光パネルを設置可能かどうかを調査する費用などについて。

▼「平成26年度大山崎町一般会計補正予算（第1号）」（全員賛成で可決）

【請願・陳情】

- ▼私立幼稚園保護者負担軽減並びに幼児教育振興助成に関する請願書（全員賛成で採択）
- ①保護者助成の増額、②第2・第3子の入園料補助、③設置助成金の増額・運営費の助成、④幼稚園への財政措置
- ▼中学校給食を「親子調理方式」制度で完全実施を求める陳情書（賛成少数で不採択）
- ▼小学校の調理施設を活用した効果的な方法で、小学校2校で中学校生徒数が賄える「親子調理方式」制度の完全実施
- ▼「大山崎町円明寺鳥居前15番地ほかの林地開発事業計画」に関する陳情書（全員賛成で採択）
- ▼開発業者とグリーンスクエア大山崎自治会が協定書を締結し、自然災害に対する不安・改善要望を精査し禍根を残さぬこと
- ▼給付付き税額控除制度の導入を求める意見書の提出を求める陳情書（継続審査）
- ▼京丹後市経ヶ岬での米軍レーダー基地の建設を直ちに中止し運行しないことを求める意見書（賛成少数で否決）

議会のうごき

●閉会中の委員会開催など

★議会運営委員会

●1月23日(金)

第1回定例会の日程など

●2月18日(水)

第1回定例会予定付議事件説明

本会議の運営について

★総務産業常任委員会

●2月19日(木)

陳情「給付付き税額控除制度の導入を求める意見書の提出を求める陳情書」(閉会中の継続審査)についての審査

★議会改革特別委員会

●1月19日(月)

議会活性化にむけて

★広報常任委員会(編集委員会)

1月13日(火)、1月26日(月)

2月5日(木)、2月12日(木)

2月17日(火)、2月24日(火)

「議会だより71号」編集

●視察・研修

★議会改革特別委員会視察

●2月16日(月)

テーマ 動画配信について

視察先 長岡京市議会

★乙訓市町議会議長会議員研修会

●2月4日(水)

テーマ 西国街道について

講師 玉城玲子氏

(向日市文化資料館館長)

対象者 二市一町の議員および

一部事務組合等職員



●視察(来訪)

★行政視察

●2月5日(木)

テーマ 保育行政について

来訪者 岡山県早島町議会

傍聴に
お越しください!

「新年度予算を審議します」

第1回定例会(3月議会)日程(予定)

2月25日(水) 本会議(開会)

3月2日(月) 広報常任委員会

3日(火) 議会改革特別委員会

5日(木) 本会議(一般質問)

6日(金) 本会議(一般質問)

9日(月) 総務産業常任委員会

10日(火) 建設上下水道文教厚生常任委員会

生常任委員会

11日(水) 予算決算常任委員会

12日(木) 予算決算常任委員会

16日(月) 予算決算常任委員会

17日(火) 予算決算常任委員会

18日(水) 予算決算常任委員会

23日(月) 本会議(最終日・採決)

※本会議、建設上下水道文教厚生常任委員会、予算決算常任委員会は午前10時開会予定。

その他の委員会は、午後1時30分開会予定。



編集後記



「議会だより」は、今回の第71号から、議員で構成する広報常任委員会が編集します。

議会改革の取組みのひとつとして議会の内容をわかりやすく伝え、見やすい紙面になるよう努めます。

IT革命がはじまり20年が経過しました。行政をはじめ、一般の家庭にもパソコンが普及し、メールやSNS、ウェブサイトにより多くの情報が瞬時に発信されています。

しかし、私たちは従来のアナログの広報誌が持つ役割をしっかりと認識しつつ、利便性、効率性だけを求めるのではなく様々な視点で何事にも取り組んでまいります。議会広報誌もその一つです。

住民の皆さんの忌憚のないご意見をお寄せください。